

平田オリザ Presents 「劇場のあるまちづくり」 Part3

対話する社会の 『演劇』と『医療・健康』

邑楽町中央公民館
邑の森ホール

参加費：500円（高校生以上）
※中学生以下無料（要整理券）

2019 2/3 (日)

発言者

平田オリザ

劇作家・演出家

孫 大輔

医師・東京大学大学院講師

平田オリザさんがまたしても邑楽町にやってきてくれる。そう聞いて心躍らないはずがない。ところがご本人は「もう話すことがない」と言っているという。ただごこちらにはお聞きしたいお話はたくさんある。では、オリザさんが話したくなる「場」を作ってしまうばいいじゃないか！？ということと、東京大学大学院から落語も嗜み映画も撮る医学博士にして家庭医の孫大輔先生をお招きして両雄相まみえさせてみようというワタクシは企んだのでありました。

コーディネイター・進行：邑楽町民劇団（仮）加藤真史

2019年2月3日（日） 13時開場 13時30分開演

主催・問い合わせ先：邑楽町中央公民館 群馬県邑楽郡邑楽町中野2569-1

TEL 0276-88-1177 FAX 0276-88-2111 <http://orachuko.ec-net.jp>

Program

1. ご紹介に代えて

オリザさんと私とソンソんと

加藤真史

2. ミニレクチャー

医療における『対話』が 地域社会にもたらすもの

孫大輔

3. 近況報告

『日本文学盛衰史』から 専門職大学設立構想まで

平田オリザ

4. 鼎談

対話する社会の 『演劇』と『医療・健康』

平田オリザ

孫大輔

加藤真史

鼎談の最後に質疑応答の時間を設けます。

※上記内容は2018年11月末日現在の予定です。発表者の都合等により、プログラムの一部を変更する場合があります。ご了承ください。



平田オリザ

大阪大学COデザインセンター特任教授、東京藝術大学COI研究推進機構特任教授、四国学院大学客員教授・学長特別補佐、京都文教大学客員教授、(公財)舞台芸術財団演劇人会議理事長、埼玉県富士見市民文化会館キラリ☆ふじみマネージャー、日本演劇学会理事、(財)地域創造理事、豊岡市文化政策担当参与、岡山県奈義町教育・文化の町づくり監。

東京大学大学院医学系研究科医学教育国際研究センター 講師

1976年佐賀県生まれ。2000年、東京大学医学部卒。医学博士、看護学博士、医療者教育学修士。主な専門研究領域はヘルスコミュニケーション、医学教育、プライマリ・ケア。研究テーマはヘルスコミュニケーション、医学生の共感とコミュニケーション教育、など。市民・患者と医療者がフラットに対話できる場「みんくるカフェ」を主宰。東京の下町である谷根千(谷中・根津・千駄木)をフィールドにCBPR(市民参加型アクションリサーチ)を進める。日本プライマリ・ケア連合学会 家庭医療専門医。一般社団法人みんくるプロデュース代表理事。毎日新聞「くらしの明日:私の社会保障論」連載、『対話する医療』(さくら舎刊)など。現在は自ら監督する映画作品に挑戦中。



孫大輔

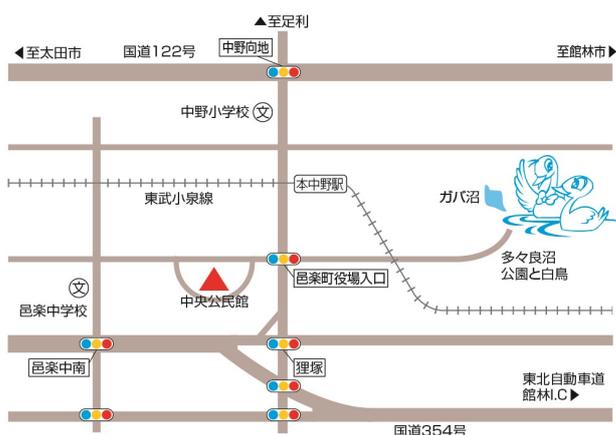


加藤真史

加藤総合研究所代表。邑楽町民劇団(仮)楽・邑楽所屬。1970年群馬県沼田市生まれ。高校時代よりプロのベースプレイヤーとして活動。スタジオミュージシャンとして活動ののち、1993年劇団無人劇場『詩人とアクセル』で音楽音響を担当。その後、音楽音響家として活動。主な作品に『アルジャーノンに花束を』(劇団咲街)、『よせ鍋』『赤い絵の具』(東京タンバリン)、『父と暮らせば』『ダム・ウェイター』など。主な作・演出作品に『さらばブタ目都市』『ねじ式CDプレイヤー』(劇団咲街)など。SFC音楽出版(現・UltraVybe)で渋谷系のディストリビュートなどを担当。1999年より利根中央病院勤務、同院医師臨床研修プログラムを作成・運営し、2004年新医師臨床研修制度における初の単独型臨床研修病院となる。2007年独立起業し、現職。

邑楽町中央公民館

〒370-0603群馬県邑楽郡邑楽町大字中野2569-1 TEL:0276-88-1177 FAX:0276-88-2111



メールでのお問い合わせはこちらからどうぞ!

